

工芸科 学部入試 出題意図

一次試験 鉛筆写生

「一次試験のデッサンは石膏デッサンが続いてきているが、今年度も昨年度に続きモチーフを加える形となった。今年度は石膏像に白と紺の一松文様の布地を加えた。全体の空間認識、石膏像のパジャントの首から肩にかけての綿素材の布地の表現、素材感、白と紺の色味、石膏のパジャントの衣類との違いを明確に表現できているか採点基準とした。」

二次試験 平面表現

「問題内容を的確に理解し、与えられた複数のモチーフに対して、それぞれの特徴を捉えて、自主的に各々の世界観や価値観を見出す感覚と、構成力、色彩感覚や観察力などの能力をみます。質の高い作品を制作する上で自主性、発想力、独自性のある優れた表現力を有した人材を求めています。」

二次試験 立体表現

「立体表現は、全体のイメージ力、空間の把握、立体の表現力、素材の探求力等工芸表現には欠かせない基礎力を判断するために実施しています。これからの

工芸の多様な変化に対応できる立体感覚を持った学生を求めます。」